

院内がん登録実績報告

1. 部位別総登録数

2. 当該2次医療圏または隣接する医療圏に居住するがん患者における診療実績

* 院内がん登録とは？

院内がん登録は、病院で診断・治療したすべての患者さんのがんについての情報を診療科を問わず病院全体で集め、その病院のがん診療がどのように行われているかを明らかにする調査です。

* 集計方法

1. 部位別総登録数

分類・定義・集計方法は、院内がん登録全国集計報告書(国立がん研究センター)に基づき集計しています。

《症例区分80を除く理由》

症例区分80(その他)はセカンドオピニオン症例等に選択します。
80の割合が各施設でばらつきがあるため、集計時には除外する集計方法を行っています。

《値の表記》

データが1以上10未満の場合は1～3、4～6、7～9と表記しています。

* 用語説明

・日付関連

《診断日》

診断日とは当院にて治療方針を決める前の診断を目的に行った検査のうち、「がん」と診断する根拠となった検査を行った日となります。
他病院で既に「がん」と診断・治療されている方は当院に初めて受診した日となります。

・医学用語

《形態コード》

形態コードとは、腫瘍となった細胞の種類とどのような性状を有しているのかを示すコードです。
細胞の種類、性状、異形度、分化度または表現型の3部分の構成から成っています。

《性状コード》

性状コードとは形態コードを構成する1部分です。
腫瘍が体内でどのように振る舞っているかを示すコードです。

《2次医療圏》

2次医療圏とは医療法において病床の整備を図る地域単位の圏域です。
この圏域内で救急医療を含む一般的な入院治療を提供できるよう構成された区域のことです。

1.部位別総登録数(症例区分80(その他):セカンドオピニオン症例等を除く)

《期間》

2020年1月1日～2024年12月31日

調査用日付(起算日) 自施設診断:自施設診断日

他施設診断:当該腫瘍初診日

《対象症例》

ICD-O-3.2(国際疾病分類-腫瘍学-3.2版)における形態コードの性状コードが2(上皮内癌)

もしくは3(悪性・原発部位)のもの。

上記に加えて、以下の腫瘍についても登録対象とする。

- ・頭蓋内に原発した、髄膜・脳・脊髄および中枢神経系に発生した腫瘍
- ・消化管間質腫瘍(GIST)(性状不詳および良性を含む)
- ・境界悪性の卵巣腫瘍の一部

部位名	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年
口腔・口唇	10	↑	18	↓	10	↑	17	↓	12
大唾液腺	1～3	↑	1～3	↓	1～3	↓	0	↑	1～3
上咽頭	1～3	→	1～3	↑	1～3	→	1～3	↓	1～3
中咽頭	7～9	→	7～9	↓	1～3	↑	4～6	↑	7～9
下咽頭	1～3	↑	4～6	↑	7～9	↓	7～9	↓	4～6
食道	27	↓	21	↑	28	↓	26	↑	30
胃	106	↓	100	↑	131	↓	106	↑	140
小腸	1～3	↑	1～3	↑	7～9	↓	4～6	↓	1～3
大腸	202	↑	203	↑	230	↑	238	↑	290
肛門/肛門管	1～3	→	1～3	→	1～3	↑	1～3	→	1～3
肝臓	30	↑	33	↓	24	↑	32	↑	43
胆嚢・胆管	29	↓	19	↓	15	↑	27	↓	21
膵臓	38	↑	61	↓	53	↑	57	↓	51
喉頭	10	↓	4～6	↑	7～9	↑	7～9	↓	4～6
肺	171	↑	175	↑	178	↓	173	↓	157
骨・骨軟部	1～3	↑	4～6	↓	1～3	↓	1～3	↓	0
皮膚(黒色腫を含む)	31	↓	29	↓	23	→	23	↑	29
乳房	133	↓	122	↓	116	↑	137	↑	147
膣・外陰	1～3	↑	1～3	→	1～3	↓	0	↑	1～3
子宮頸部	49	↑	74	↓	68	↓	55	↑	67
子宮体部	19	↑	22	↓	14	↑	21	↓	20
子宮	0	→	0	→	0	→	0	→	0
卵巣	15	↓	11	↑	15	↓	13	↑	19
前立腺	70	↑	89	↑	101	↑	105	↓	83
精巣	1～3	↓	1～3	↑	1～3	↑	4～6	↓	4～6
腎	14	↑	17	↑	22	↓	20	↑	21
膀胱	48	↑	53	↑	58	↑	71	↓	67
腎盂・尿管	11	↑	14	↓	12	↑	22	↓	12
脳・中枢神経系	23	↓	14	↑	19	↓	10	↑	18
甲状腺	4～6	↑	7～9	↓	4～6	↑	14	↓	4～6
悪性リンパ腫	46	↑	67	↓	61	↓	54	↑	67
多発性骨髄腫	14	↓	7～9	↑	12	↑	21	↓	11
白血病	30	↑	31	↓	22	↑	36	↓	30
他の造血器腫瘍	22	→	22	↑	28	↓	23	↑	28
その他	21	↑	25	↑	26	↑	28	↓	24
総数	1,195	↑	1,269	↑	1,308	↑	1,366	↑	1,423

※ 2021年以降は前年と増減比較の表示あり

2.当該2次医療圏または隣接する医療圏に居住するがん患者における診療実績

《期間》

2020年1月1日～2024年12月31日

調査用日付(起算日) 自施設診断: 自施設診断日

他施設診断: 当該腫瘍初診日

I.年間新入院がん患者数(当該2次医療圏または隣接する医療圏別)

	2次医療圏名	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
新入院がん患者数		1,837	1,979	2,049	2,135	2,093
当該2次医療圏	名古屋・尾張中部医療圏	1,736	1,852	1,931	2,029	1,996
隣接する医療圏	海部医療圏	39	73	63	66	55
	知多半島医療圏	12	7～9	17	22	7～9
	尾張西部医療圏	1～3	4～6	1～3	1～3	0
	尾張東部医療圏	1～3	0	7～9	0	1～3
	尾張北部医療圏	1～3	1～3	0	4～6	7～9

II.年間外来がん患者延べ数(当該2次医療圏または隣接する医療圏別)

	2次医療圏名	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
外来がん患者延べ数※		30,951	30,066	28,115	26,270	22,500
当該2次医療圏	名古屋・尾張中部医療圏	29,199	28,531	15,939	25,091	21,378
隣接する医療圏	海部医療圏	1,135	994	606	831	698
	知多半島医療圏	199	133	83	136	88
	尾張西部医療圏	57	49	35	22	12
	尾張東部医療圏	36	25	17	31	27
	尾張北部医療圏	10	1～3	1～3	1～3	7～9

※ 年間外来がん患者延べ数とは、当院の新来、再来がん患者に診療録作成または記載追加を行ったがん患者延べ数である。

(例)同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成または記載の追加を行った場合は2人とする。

《参考》当該2次医療圏または隣接する医療圏の名称及び区域

名称	区域
名古屋・尾張中部医療圏	名古屋市、清須市、北名古屋市、豊山町
海部医療圏	津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村
知多半島医療圏	半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
尾張西部医療圏	一宮市、稲沢市
尾張東部医療圏	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町
尾張北部医療圏	春日井市、犬山市、江南市、小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町